

ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.6 強化内容

2025年6月

日本電気株式会社

ESMPRO/AutomaticRunningController v.5.6 強化内容

ESMPRO/AutomaticRunningController v.5.6 (2024年6月 リリース) 強化内容

(* ESMPRO Platform Management Kit 1.006.01以降 にも本ソフトウェアは同梱されています。)

[機能強化]

- ・ スケジュール運転一括設定機能の強化
 - スケジュール運転一括設定の対象サーバが選択可能。
 - 対象サーバに、制御端末を追加。
 - 対象サーバに、サーバ種別:Linuxサーバ、Linuxサーバ(KVM)を追加。
- ・ 自動運転停止シャットダウン機能
 - 自動でスケジュール運転と無停電電源装置(UPS)を完全に停止させる機能を追加。
- ・ [まとめて設定]機能の強化
 - AMCメニューからの[まとめて設定]が可能。
 - XMLファイルで、端末(サーバ)・無停電電源装置(UPS)をAMCツリーに反映可能。
 - XMLファイルで、クラスタ構成のAMCツリーの一括設定が可能。
 - XMLファイルをダウンロード・編集することで、別環境に設定移動が可能。
 - AMC/AC GUIの設定のバックアップ・復元が可能。

[機能強化] スケジュール一括設定

複数の端末に「同じスケジュール設定」を行う場合の設定手順を簡略化する機能となります。

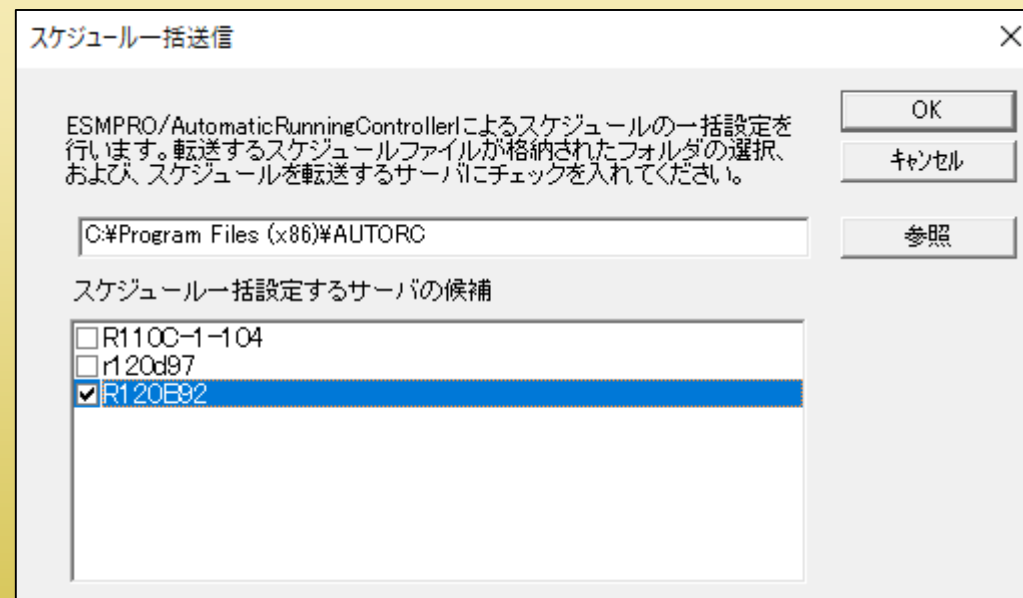
◆ 従来(AC Ver5.5)のスケジュール設定

- ・スケジュール設定の対象が選べずAC Management Consoleに登録されているLinux以外の全ての連動端末にスケジュールが設定される。
- ・スケジュール一括設定の対象は連動端末のみ。
- ・連動端末でサーバ種別:Linuxサーバ、Linuxサーバ(KVM)はスケジュール一括設定の対象外。



◆ AC Ver5.6のスケジュール一括設定

- ・スケジュール一括設定でスケジュールを設定するサーバを選択可能。
- ・制御端末もスケジュール一括設定の対象に追加。
- ・サーバ種別:Linuxサーバ、Linuxサーバ(KVM)もスケジュール一括設定の対象に追加。



[機能強化] スケジュール一括設定 詳細手順（スケジュールの送信）

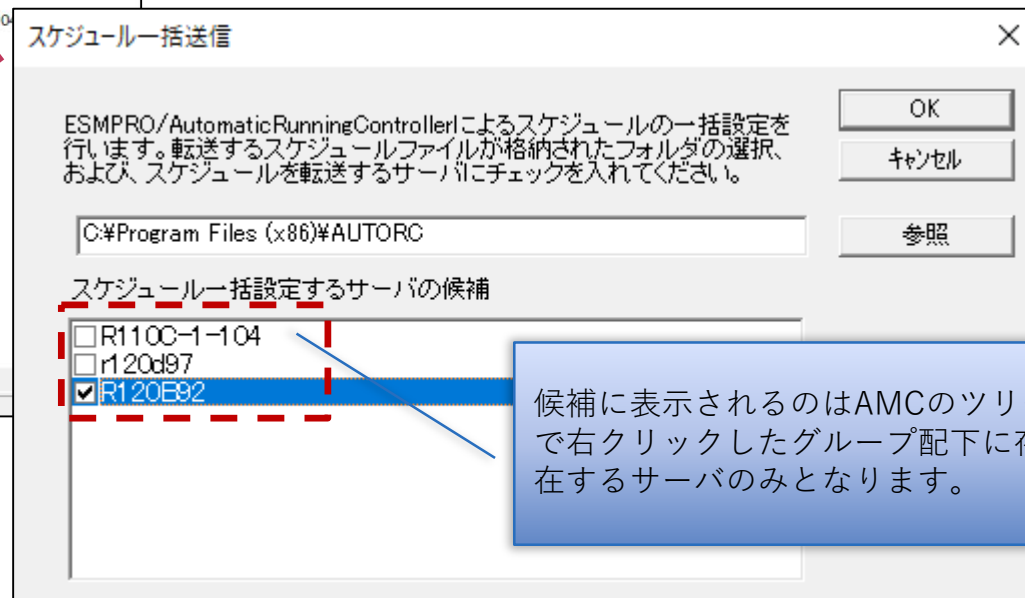
作成したスケジュールの送信方法

AMCのスケジュール一括送信メニューより、転送したいサーバを選択し、スケジュール設定が可能。

1. AMCの右クリックメニューから「スケジュール一括送信」を選択する。

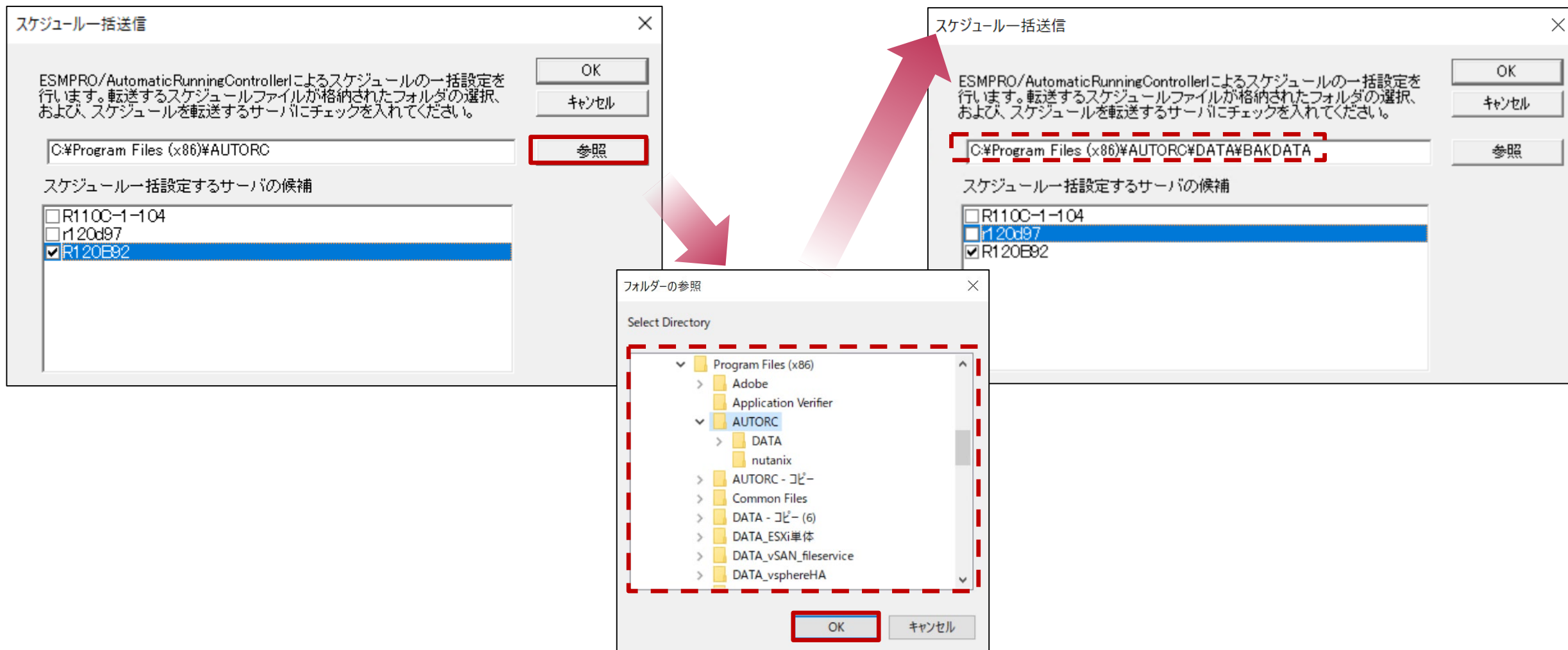


2. スケジュールを設定するサーバにチェックをいれる。



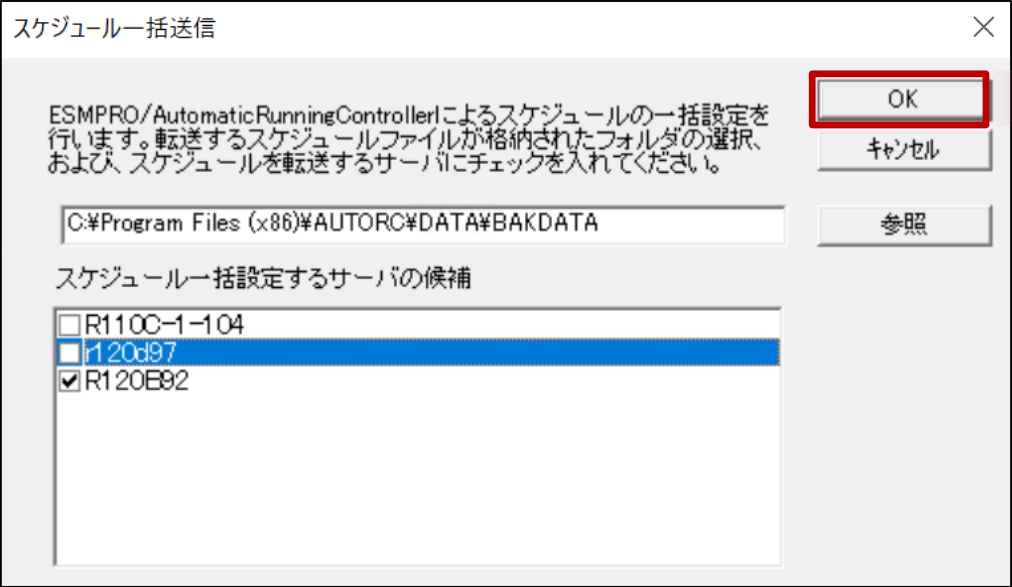
[機能強化] スケジュール一括設定 詳細手順（スケジュールの配信）

3. スケジュールファイルが格納されているフォルダを指定して「OK」をクリックする。



[機能強化] スケジュール一括設定 詳細手順（スケジュールの配信）

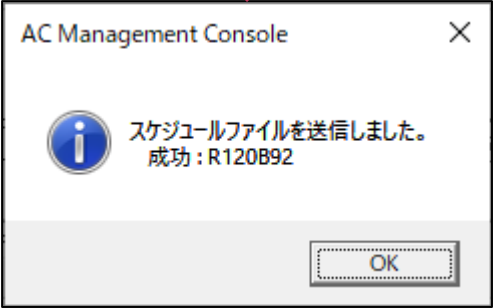
4.保存したスケジュールファイルが格納されているフォルダを指定して「OK」をクリックする。



5.「はい」をクリックする。



対象サーバ接続時にログイン名、パスワードの入力が求められることがあります。



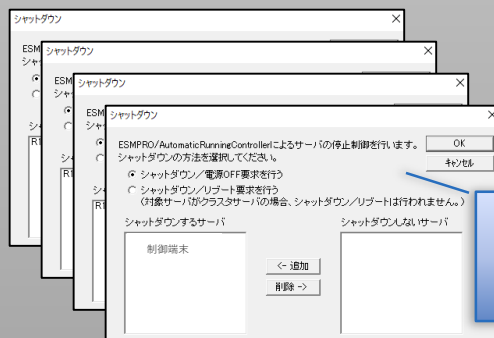
[機能強化] 自動運転停止シャットダウン

AMCから自動運転停止と同じタイミングでシャットダウンを行います。

◆ 従来(AC Ver5.5)のシャットダウン

- ・計画停電などの理由でACのスケジュール運転機能を停止させたい場合、[指定サーバのシャットダウン](※)を用いてシステム依存関係順に個別にサーバをシャットダウンし(例: Webサーバ→APサーバ→DBサーバ)、最後に制御端末をシャットダウンする必要があった。一度の操作でシステム全体をシャットダウンできなかった。

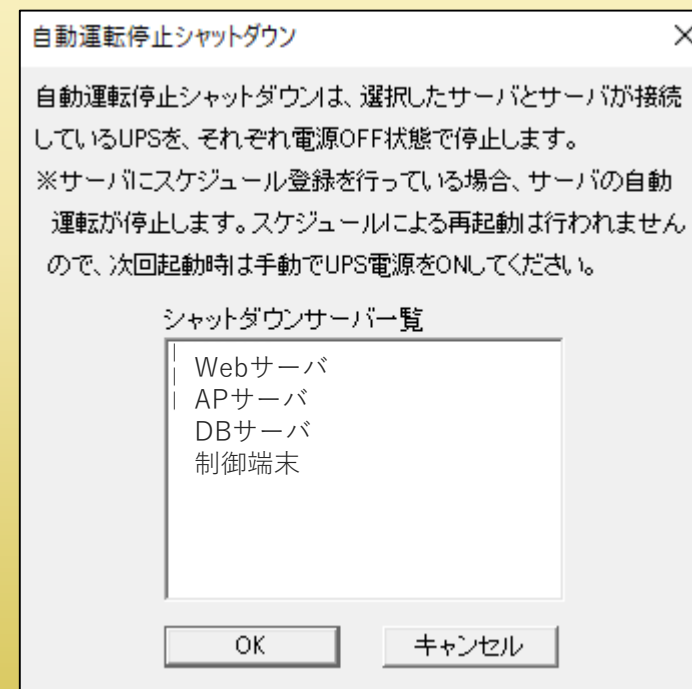
(※)[指定サーバのシャットダウン]は、指定サーバを一斉シャットダウンする機能であり、シャットダウン順序は考慮しない。



[指定サーバのシャットダウン]
を繰り返し実行。

◆ AC Ver5.6のシャットダウン

- ・[自動運転停止シャットダウン]を使うことで、計画停電のようにACのスケジュール運転機能を停止させたい場合でも、1回の操作でシステム全体のシャットダウンが可能。

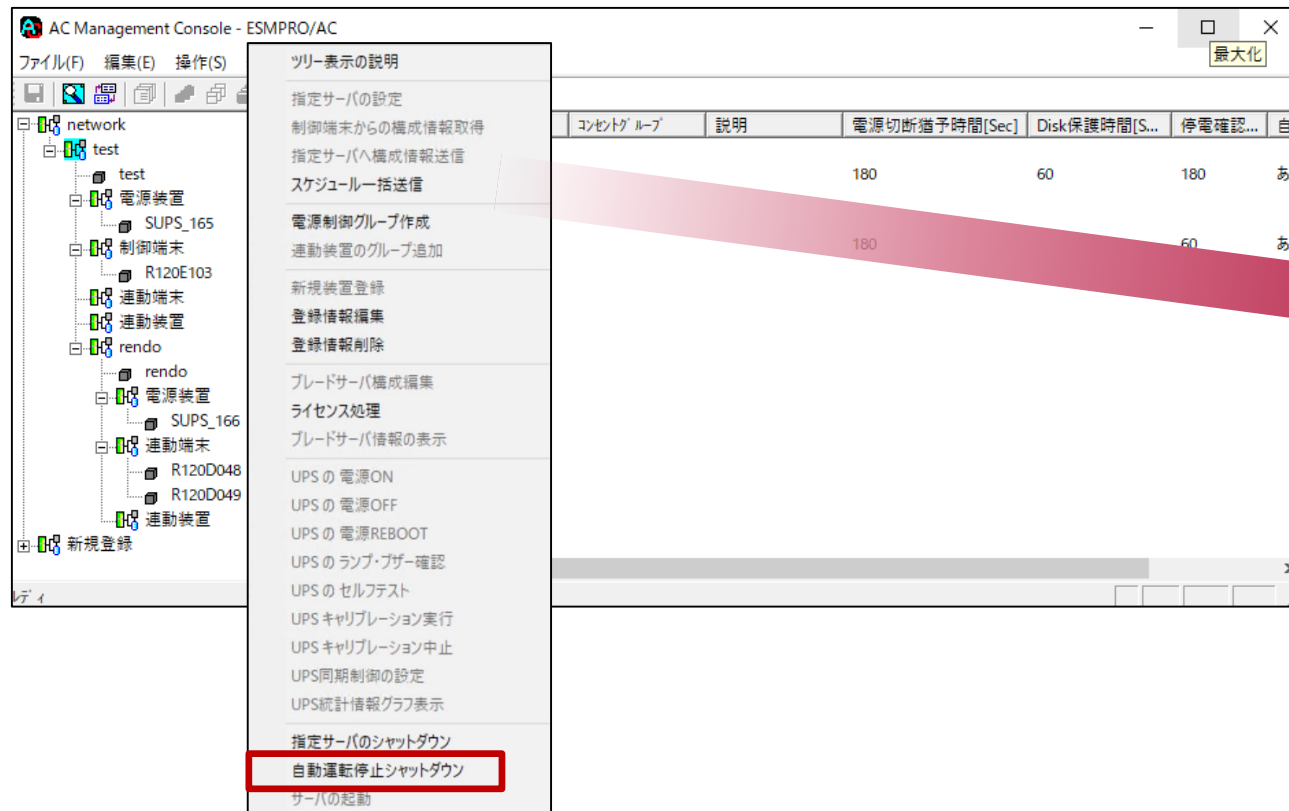


[機能強化] 自動運転停止シャットダウン 詳細手順

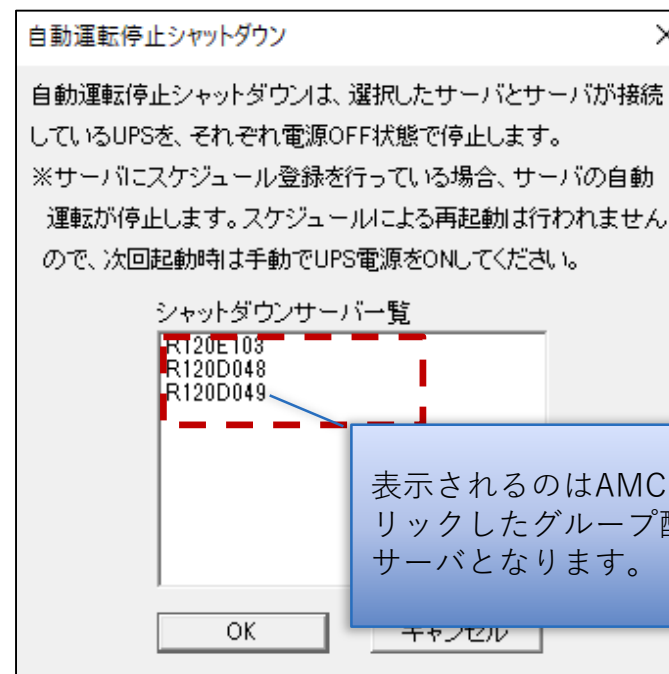
自動運転シャットダウンの実行方法

AMCの[自動運転停止シャットダウン]により、1回の操作でシステム全体のシャットダウンが可能。

1. AMCの右クリックメニューから「自動運転停止シャットダウン」を選択する。



2. シャットダウンサーバー一覧を確認し[OK]を押下する。

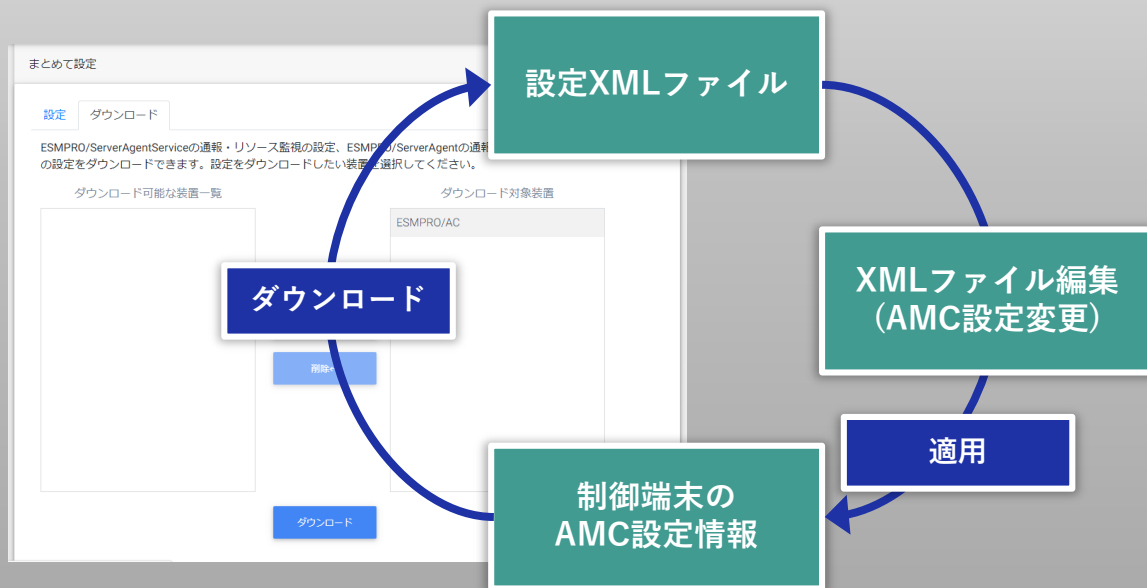


[機能強化] [まとめて設定]

AMCからXMLファイルによる設定機能が強化された[まとめて設定]が実行できます。

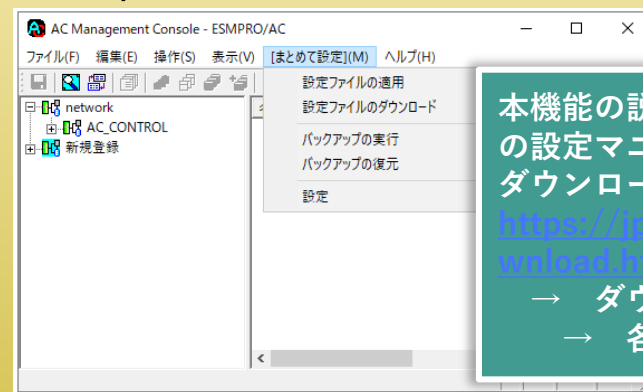
◆ 従来(AC Ver5.5)の[まとめて設定]

- ・ [まとめて設定] はESMPRO/ServerManagerからのみ実行可能。
- ・ [まとめて設定]のXMLファイルによる設定はAMC設定情報のみ可能。



◆ AC Ver5.6の[まとめて設定]

- ・ AMCメニューからも[まとめて設定]が可能。
- ・ XMLファイルでAMCツリーに端末(サーバ)・無停電電源装置(UPS)の登録・削除・設定変更が可能
- ・ XMLファイルでクラスタ構成のAMCツリーの一括設定が可能。
- ・ 制御端末・連動端末のAMC/AC GUI設定をXMLファイルにダウンロード。設定を編集することで別環境への設定移動が可能。
- ・ AMC/AC GUI設定のバックアップ・復元が可能。



本機能の説明資料「AMC[まとめて設定]の設定マニュアル」は以下のURLよりダウンロード可能です。

https://jpn.nec.com/esmpro_ac/ac_download.html

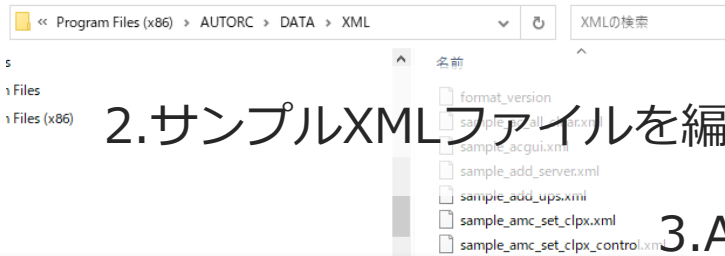
- ダウンロード
- 各種資料

[機能強化] [まとめて設定] 詳細手順

端末(サーバ)・無停電電源装置(UPS)の登録・削除・設定変更

設定XMLファイルを作成しAMCの「設定ファイルの適用」でサーバ・UPSの設定が可能。

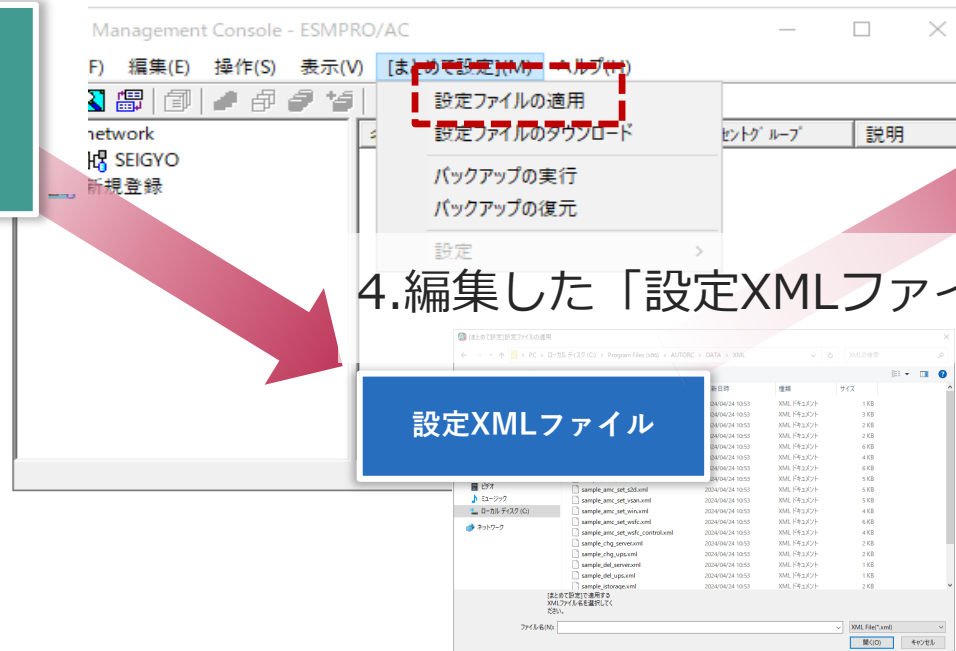
1.登録・削除・設定変更用のサンプルXMLファイルを選択しコピー



2.サンプルXMLファイルを編集し「設定XMLファイル」作成

3.AMCより「設定ファイルの適用」を実行

サンプルXMLファイルはESMPRO/AC Enterpriseのインストールディレクトリ中の「DATA\XML」ディレクトリより入手可能



4.編集した「設定XMLファイル」選択

5.AMCツリーに反映

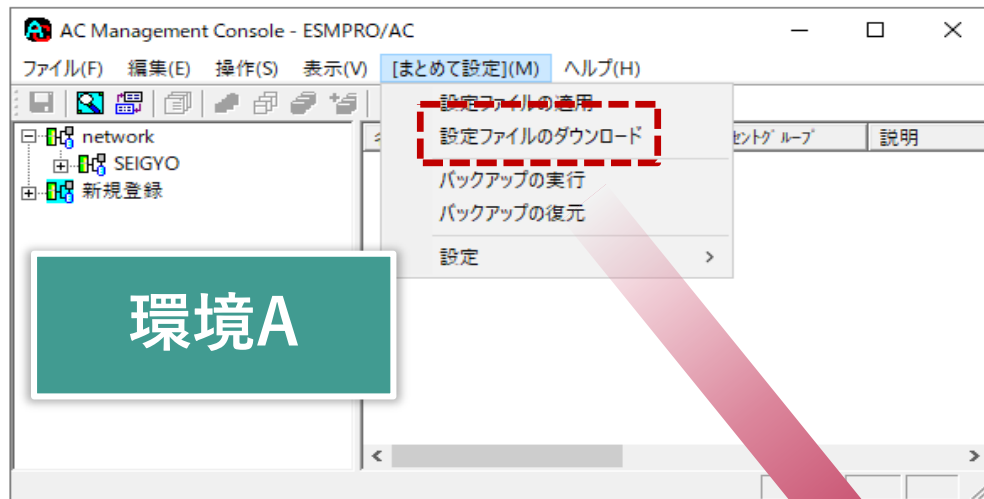


[機能強化] [まとめて設定] 詳細手順

AMC/AC GUI設定をXMLファイルで別環境に移動

AMCの「設定ファイルのダウンロード」で設定XMLファイルを作成。別環境用にファイル編集し、別環境のAMCで「設定ファイルの適用」をおこなうことで環境の移動が可能。

1. 環境AのAMCより「設定ファイルのダウンロード」を実行



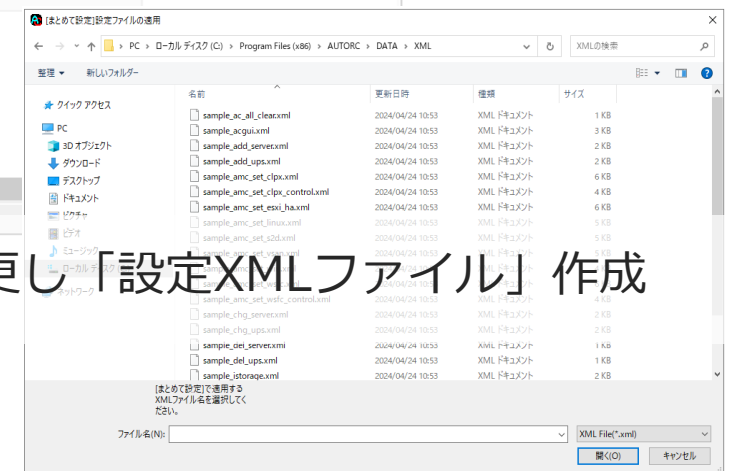
2. ダウンロードXMLファイルを環境Bの設定に変更し「設定XMLファイル」作成

設定XMLファイル

3. 環境BのAMCより「設定ファイルの適用」を実行



4. 編集した「設定XMLファイル」選択

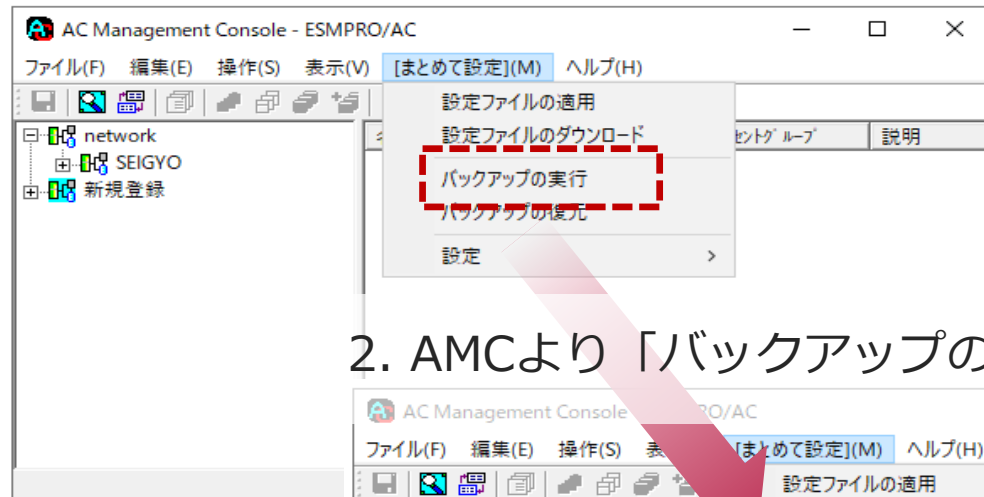


[機能強化] [まとめて設定] 詳細手順

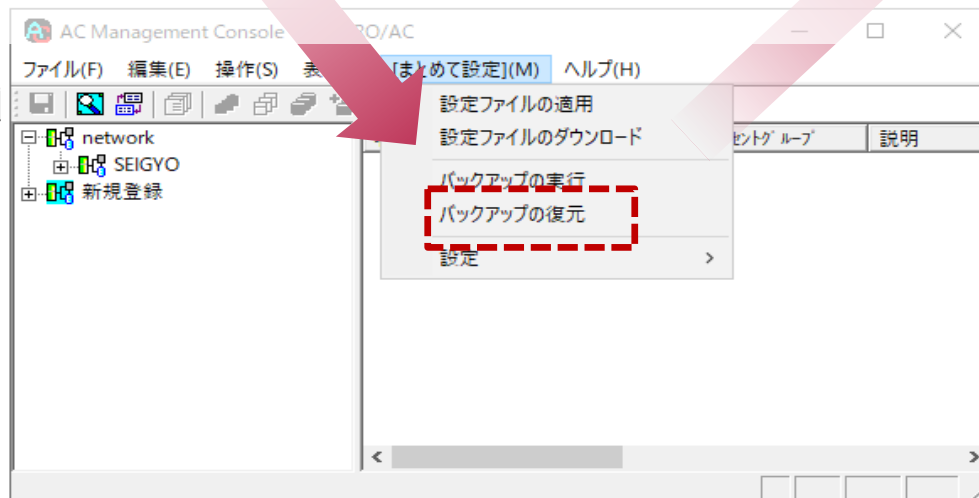
AMC/AC GUI設定のバックアップ・復元

AMCの「バックアップの実行」「バックアップの復元」で AMC/AC GUI設定のバックアップと復元が可能。

1. AMCより「バックアップの実行」を実行



2. AMCより「バックアップの復元」を実行



3. バックアップファイルを選択する

